

10月19日発表の中国の利上げについて

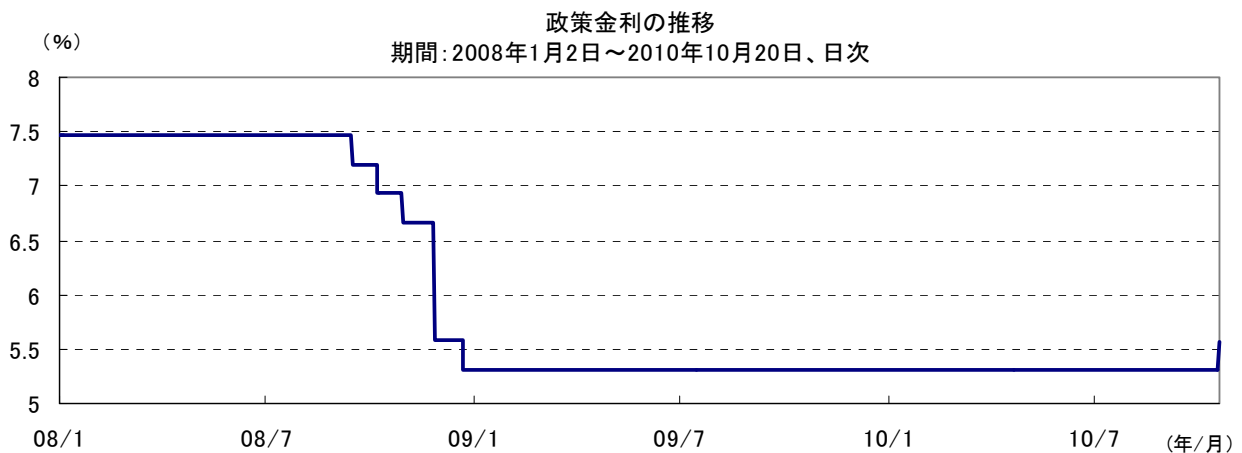
中国人民銀行(中央銀行)は、10月19日に政策金利である1年物運転資金貸出金利を0.25%引き上げ、年率5.56%とすると発表しました。

中国人民銀行は、中国国内における不動産価格の上昇が続くなど景気に過熱感が出始めていることを懸念して2010年初頭から金融引締め策を採用してきました。これまで具体的には、①新規銀行貸出総量規制の強化、②不動産取引や不動産購入融資に係る規制の強化、③預金準備率の引き上げ(2010年1月、2月、5月に3回合計1.5%、2010年10月には大手銀行6行に対して0.5%時限的に引き上げ)などが実施されています。今回の利上げは2008年秋の金融危機以降初めてで、2007年12月以来約2年10ヵ月ぶりとなります。

今回の利上げの背景としては、インフレ率の上昇が挙げられます。中国国内の消費者物価指数(前年同月比)は2010年4月より政府目標値である3%近辺を推移し、8月には3.5%を記録していました。中国人民銀行はインフレ率の更なる上昇を懸念し、今回の利上げを行なったと考えられます。

また、人民元が割安に抑えられているといった米国などからの圧力も背景として考えられます。10月22日より韓国で開催される20ヵ国・地域(G20)財務相・中央銀行総裁会議を控えて、為替政策への批判に対応するため中国人民銀行は利上げを行なったとの一部報道があります。

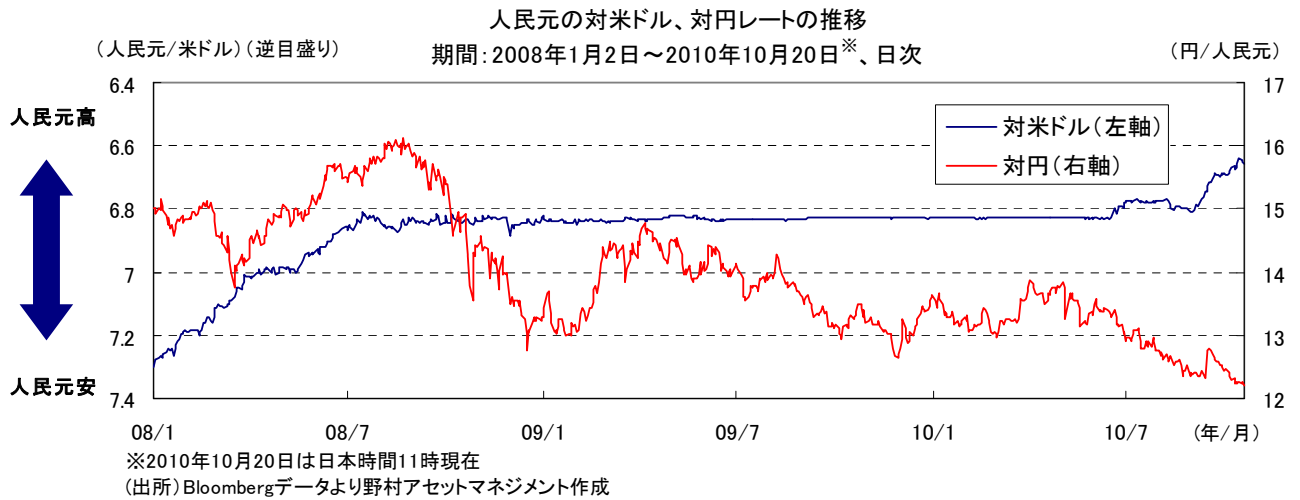
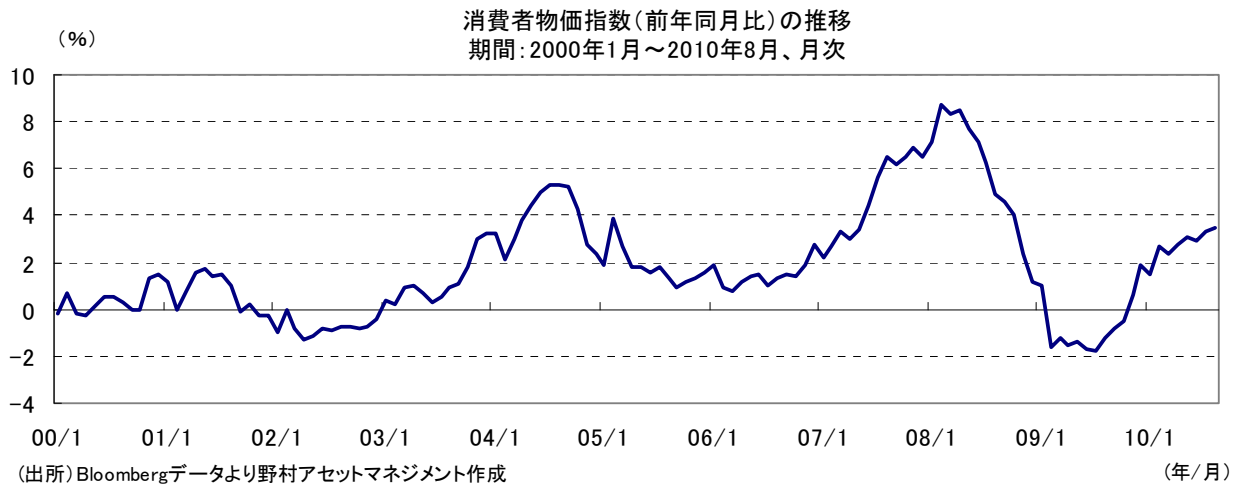
中国人民銀行が発表した10月19日の中心レートは1米ドル=6.6553人民元でしたが、20日の市場では同6.6587(日本時間11時現在)となっております。



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。

【ご参考資料】



以上

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。